

こどもアンケート（こどもの意見調査）（案）

1 目的および方法

「青梅市こども計画」の推進および「青梅市こども基本条例（仮）」の制定検討のため、ウエブアンケートにより、こどもの意見を調査する。

2 実施予定期間 令和7年12月～令和8年1月

3 対象

- ・市内在住の小学4～6年生、中学生
- ・市内在住・在学の高校生（相当年齢の児童）

4 設問設定方針

- ・青梅市こども計画で達成を目指す指標項目に則した設問を設定する。
- ・ヤングケアラーについては、潜在的な現状を調査する。
- ・不登校児の状況についても、可能な範囲で調査する。
- ・こどもの居場所や地域の中での自己実現についての意見を調査する。
- ・調査内容は小学生から高校生まで原則同一とし、用語に配慮する。

5 設問全体概要

凡例説明 ●は回答必須 ○は選択肢により出現し回答必須
 ▲は回答任意 △は選択肢により出現し回答任意
 □は選択肢により出現しメッセージを表示

回答者のプロフィール

- Q1. あなたは何年生か教えてください。
- Q2. あなたの性別を教えてください。
- Q3. あなたの通っている学校を教えてください。

小学生高学年、中学生は、通学校を回答。不登校等の選択肢を設定。

高校生は、住んでいる地域を回答。

Q3 で不登校等を選択した場合

- △あなたの所属している学校を教えてください。
- △学校に行けなくなっている理由について教えてください。
- △あなたにとって心地よいと感じている居場所のことや、聞いてほしいことなど、なんでも自由に書いてください。

指標1 「子どもの権利」について、「聞いたことがある」と回答する小学生から18歳の割合

- Q4. あなたは、「子どもの権利」を知っていますか。
- Q5. 子どもの権利条約の基本的な考え方は、次の4つの原則で表されています。あなたはこれらが普段の生活の中で、守られていると思いますか。
▲そう思った理由を簡単に書いてください。

指標2 「将来、青梅市に住みたいと思う」と回答する中学生の割合

- Q6. あなたは、しょうらい、青梅市に住みつけたいと思いますか。
▲「そう思う理由」と「将来青梅市がこんなまちになるといいな」と思うことを、教えてください。

指標3 「自分に自信がある」と思う中高生の割合

- Q7. あなたは、自分に自信がありますか？
▲そう思った理由を簡単に書いてください。

指標4 「自分の将来の夢や目標を持っている」と回答することの割合

- Q8. 現在あなたは、自分の将来の夢や目標を持っていますか？
▲将来の夢や目標を持っている人はその内容を、考え中の人や持てる気がしない人はその理由を書いてください

指標5 困っていることや悩んでいることがあるとき、「誰にも相談しない」と回答することの18歳の割合

- Q9. 困まりごとや悩みごとがあるとき、誰かに相談していますか？

指標6 こどもにおけるヤングケアラーの認知度「知らない」と答える中高生の割合

- Q10. ヤングケアラーという言葉と内容について、知っていますか？
- Q11. 普段の生活の中で、イラストにあるようなことについて、あなた自身が実際にやっていて、多く時間を取りられていることはありますか？
 - ①当てはまることがある場合は、該当する番号をチェックしてください。
 - ②世話をしているためにできていないことがありますか？
 - ③大人の代わりに、家族の世話をしていることを誰かに相談したことはありますか？
 - △④どのような人に相談したか、相談したことが無い人はその理由を教えてください。

指標外 こどもの居場所

- Q12. 青梅市にあったらいいなと思う、こどもの居場所について、あなたの意見を書いてください。

指標外 地域の中での自己実現

- Q13. あなたが青梅市の中でやってみたいこと、こんなことできたら楽しいなと思うことなどのアイデアを、どんなことでもよいので、書いてください。

6 設問詳細

冒頭部分

青梅市こどもアンケート_子どもの権利や居場所づくりなどへの意見を募集します！
あなたの思っていることを、気軽に自由に答えてください！

青梅市では、すべての子どもたちが教育を受けたり楽しく遊んだりしながら、自分や友達のことが好きで、自由な意見を言える、そうした「子どもがまんなかのまちづくり」を目指す「青梅市こども計画」を令和7年度から開始しました。

さらに「こども基本条例（きほんじょうれい）」という決まりごとを作りたいと考えています。

そこで、今、みなさんが考えていることや意見を聞かせてください。

みんなさんが答えたことは、家族や先生、ほかの人に知られることはありますので、安心してアンケートに答えてください。

ご協力を願います。

回答者のプロフィール

●Q1. あなたは何年生か教えてください。

小学生高学年 ・ 小学4年生 ・ 小学5年生 ・ 小学6年生

中学生 ・ 中学1年生 ・ 中学2年生 ・ 中学3年生

高校生 ・ 16歳高1 ・ 17歳高2 ・ 18歳高3

●Q2. あなたの性別を教えてください。

・ 男子 ・ 女子 ・ 答えたくない

●Q3. あなたの通っている学校を教えてください。

小学生高学年 ・ 一小 ・ 二小 ・ 三小 ・ 四小 ・ 五小 ・ 六小 ・ 七小

・ 成木小 ・ 河辺小 ・ 新町小 ・ 霞台小 ・ 友田小 ・ 今井小 ・ 若草小

・ 藤橋小 ・ 吹上小 ・ 東小 ・ 青梅市以外の小学校

・ 現在は学校に行けていない（不登校・病気療養など）

中学生 ・ 一中 ・ 二中 ・ 三中 ・ 西中 ・ 六中 ・ 七中

・ 霞台中 ・ 新町中 ・ 吹上中 ・ 泉中 ・ 東中 ・ 青梅市以外の中学校

・ 現在は学校に行けていない（不登校・病気療養など）

高校生は住んでいる地域

・ 青梅 ・ 長淵 ・ 大門 ・ 梅郷 ・ 沢井 ・ 小曾木 ・ 成木 ・ 東青梅

・ 新町 ・ 河辺 ・ 藤橋 ・ 今井 ・ 西多摩地域内 ・ 西多摩地域外

Q3 の小学生高学年と中学生で「現在は学校に行けていない（不登校・病気療養など）」を選択した場合出現（不登校等の理由について調査する）

△あなたの所属している学校を教えてください

学校を選択

△学校に行けなくなっている理由について教えてください。（いくつでも・つらかったら答えなくても大丈夫です）

- ・病気療養をしているから
- ・学校の勉強が難しいと思ったから
- ・先生や友だちとの関係がしんどいと感じたから
- ・体がだるかったり、疲れやすかったりしたから
- ・学校に行けるのに「こわい」と思う感じがしたから
- ・いじめや悪口を言われている気がしていたから
- ・自分が目立つのが嫌だと思ったから
- ・家にいる方が安心すると感じたから
- ・朝起きるのがつらくて行けなかったから
- ・その他

△あなたにとって心地よいと感じている居場所のことや、聞いてほしいことなど、なんでも自由に書いてください。（書ける場合だけでよいです・100字以内）

指標1 「子どもの権利」について、「聞いたことがある」と回答する小学生から18歳の割合

●Q4. すべての子どもは生まれながらに権利をもっています。

この「子どもの権利」は、子どもが幸せに健やかに成長していくために必要なものです。あなたは、「子どもの権利」を知っていますか。

- ・聞いたことがあり、内容も知っている
- ・聞いたことがあり、内容を少しだけ知っている
- ・聞いたことはあるが、内容はわからない
- ・聞いたことがない（今回初めて聞いた）

●Q5. 子どもの権利条約の基本的な考え方は、次の4つの原則で表されています。あなたはこれらが普段の生活の中で、守られていると思いますか。あてはまる一つをチェックしてください。（4つの原則に対し、6つの選択肢からそれぞれ選択）

①【差別のないこと】人種や国籍、障がいなど、どんな理由でも差別されることが無い

②【こどもにとって最もよいこと】大人たちはそのこどもにとって、最もよいことは何かを第一に考えている

③【命を守られ成長できること】全てのこどもは命が守られ、持つて生まれた能力を十分に伸ばして成長できる

④【こどもが意味のある参加ができること】自分に関係することについて子どもは自由に意見を表すことができ、大人たちはそれを受けとめている

- | | | |
|----------------|---------------|------------|
| ・そうなっていると思う | ・ややそうなっていると思う | ・どちらとも言えない |
| ・ややそうなっていないと思う | ・そうなっていないと思う | |
| ・この質問の意味がわからない | | |

▲そう思った理由を簡単に書いてください。（書ける場合だけでよいです・100字以内）

指標2 「将来、青梅市に住みたいと思う」と回答する中学生の割合

●Q6. あなたは、しょうらい、青梅市に住みつづけたいと思いますか。今の気持ちを教えてください。

- ・大人になっても、住みつづけたいと思う
- ・一度青梅市ではないところに住んで、いつかまたもどりたいと思う
- ・青梅市ではないところに住みたいと思う
- ・今はまだわからない

▲「そう思う理由」と「将来青梅市がこんなまちになるといいな」と思うことを、教えてください。(書ける場合だけでよいです・100字以内)

指標3 「自分に自身がある」と思う中高生の割合

●Q7. あなたは、自分に自信がありますか？

- ・しっかり自信がある
- ・少し自信がある
- ・どちらとも言えない
- ・やや自信が無い
- ・全く自信がない

▲そう思った理由を簡単に書いてください。(書ける場合だけでよいです・100字以内)

指標4 「自分の将来の夢や目標を持っている」と回答する子どもの割合

●Q8. 現在あなたは、自分の将来の夢や目標を持っていますか？

- ・しっかり持っている
- ・少し持っている
- ・今は考えているところ
- ・今はまだ考えていない
- ・持てる気がしない

▲将来の夢や目標を持っている人はその内容を、考え中の人や持てる気がしない人はその理由を書いてください。(書ける場合だけでよいです・100字以内)

指標5 困っていることや悩んでいることがあるとき、「誰にも相談しない」と回答する子どもの18歳の割合

●Q9. 困まりごとや悩みごとがあるとき、誰かに相談していますか？

- ① よく相談している
- ② 相談することはある
- ③ あまり相談することはない
- ④ だれにも相談していない

○Q9 で**①②**の回答があった場合出現

- ・家族に相談している
- ・友だちに相談している
- ・先生に相談している
- ・身近な大人に相談している
- ・SNSなど直接会ったことが無い人に相談している
- ・その他

△Q9 で**③④**の回答があった場合出現

相談していない理由があれば書いてください（100字以内）

指標6 こどもにおけるヤングケアラーの認知度「知らない」と答える中高生の割合

●Q10. ヤングケアラーという言葉と内容について、知っていますか？

- ・聞いたことがあり、内容もよく知っている
- ・聞いたことがあり、内容もある程度知っている
- ・聞いたことはあるが、内容はよく知らない
- ・知らない

●Q11. 普段の生活の中で、以下にあるようなことについて、あなた自身が実際にやつていて、多く時間がかかっていることはありますか？

①ある

②特はない

イラストはこども家庭庁ホームページから引用



障害や病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている。



家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている。



障害や病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている。



目を離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている。



日本語が第一言語でない家族や障害のある家族のために通訳をしている。



家計を支えるために労働をして、障害や病気のある家族を助けている。



アルコール・薬物・ギャンブル問題を抱える家族に対応している。



がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている。



障害や病気のある家族の身の回りの世話をしている。



障害や病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている。

Q11で①の回答があった場合、以下①～④と□が出現

○①上のイラストに当てはまることがある場合は、該当する番号をチェックしてください。(いくつでも)

- 1 買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている
- 2 幼いきょうだいの世話をしている
- 3 障がいや病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている
- 4 目を離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている
- 5 日本語を話すことが難しい家族のために通訳をしている
- 6 家計を支えるために労働をしている
- 7 生活上の問題を抱える家族を支えている
- 8 がん・難病・精神疾患など病気の家族の看病をしている

- 9 障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている
- 10 障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている
- 11 その他

○②世話をしているためにできていないことがありますか？

- 0 特にない
- 1 家の中で自分の時間が取れない
- 2 宿題や勉強する時間が取れない
- 3 睡眠時間が十分に取れない
- 4 友人と遊ぶ時間が取れない
- 5 学校に行く時間が取れない（遅刻早退が多い）
- 6 将来や進路のことを考えられない
- 7 クラブ活動に参加する時間が取れない
- 8 その他

○③大人の代わりに、家族の世話をしていることを誰かに相談したことはありますか？

- ・相談をしたことがある
- ・相談をしたことが無い

△④相談したことがある人はどのような人に相談したか、相談したことが無い人はその理由を教えてください。（書ける場合だけでよいです・100文字以内）

□家族の世話などで自分の時間がとれていなことについて、各学校のスクールカウンセラーの先生、または青梅市こども家庭センターへ電話（0428-24-2126）で、相談ができます。秘密は必ず守られます。

東京都ヤングケアラーのひろば（<https://www.young-carer.metro.tokyo.lg.jp/>）にも情報がありますので、見てください。

指標外 こどもの居場所

●Q12. 青梅市にあったらいいなと思う、子どもの居場所について、あなたの意見を書いてください。（100字以内）

指標外 地域の中での自己実現

●Q13. あなたが青梅市の中でやってみたいこと、こんなことできたら楽しいなと思うことなどのアイデアを、どんなことでもよいので、書いてください。（200字以内）